

かごしま

KOKUHO
KAGOSHIMA

国保

鹿児島県
国保連合会広報誌

2014
No.580

1



年頭の
ごあいさつ

制度の動向を注視し、情勢の変化に対応する
連合会を目指す

【特集】

第21回鹿児島県国保地域医療学会

地域医療における連携の現状～加速する高齢化社会～



《年頭のごあいさつ》

制度の動向を注視し、情勢の変化に対応する联合会を目指す

鹿児島県国民健康保険団体連合会

理事長 本田 修一

新年あけましておめでとつございます。平成26年の輝かしい新春を迎え、謹んでごあいさつ申し上げます。

また、平素から国民健康保険事業ならびに介護保険事業の円滑な運営にご尽力いただいていることに対し、深く敬意を表しますとともに、本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国民健康保険は制度創設以来、我が国の国民皆保険制度を根幹から支え、長きにわたり地域医療の確保と住民の健康の保持増進に大きく貢献してまいりました。しかしながら、制度が抱える脆弱な財政基盤や加入者の急速な高齢化に伴う医療費の増高、長引く景気の低迷等によって、国民健康保険の財政運営は年々厳しさを増しています。

こうした中、国においては昨年8月6日、社会保障制度改革国民会議が、国保の保険者を市町村から都道府県に移行させることなどを盛り込んだ報告書を首相に提出し、10月15日の閣議で、社会保障制度改革を平成26～29年度に実施する工程を明記した「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律案」いわゆるプログラム法案を決定し、その後、臨時国会において可決、成立いたしました。

本会としても国の動向を注視し、円滑な業務支援ができるよう適正に対応してまいります。

診療報酬審査支払業務につきましては、平成26年4月に診療報酬の改定が行われることとなっており、診療報酬の多様化・高年度化に対応するため、より一層の効率的な審査と質の向上に努めてまいります。また、保険者支援の充実強化等の事業は継続し、保険者事務の効率化及び経費の節減を念頭に保険者の共同体として国保総合システムの利用・促進を図ってまいります。

特定健診・特定保健指導につきましては、平成24年度の健診受診率が40.9%と、前年を4.6%上回る結果となりました。健診受診率が年々上昇していることは、保険者において日々取り組まれている特定健診受診促進の働きかけ、地域住民の健康に対する意識の表れによるものと存じます。更なる受診率向上に向けた取り組みが重要となつてまいります。また、年々増加する医療費の伸びを鈍化させるため、国保データベース（KDB）システムの活用促進を図り、医療費の適正化に繋げ、生活習慣病の予防及び発見等を積極的に促進し、住民の健康の維持・増進に関する重症化予防対策等の保健事業を支援してまいります。

「高齢者の介護を社会全体で支えるシス

テム」として定着してきている介護保険制度につきましては、サービス受給者や介護給付費が年々増大し、持続可能な制度としていくためのサービスの質の向上、財源確保、介護職員の人材確保等、課題が山積しております。このような課題に対応するため、国

においては、予防重視への転換や在宅サービスの充実等の施策が進められており、高齢者が地域で自立した生活ができるように、「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取り組みも進められております。本会としても、県及び市町村と緊密な連携を図り、制度の円滑な運営に努めてまいります。

先般行われた「国保制度改革強化全国大会」において、国保の構造的な問題を抜本的に解決し、持続可能な制度を構築することなどを求める決議がなされました。更に、規制改革会議における審査支払機関の役割分担の見直しに対しても特別決議がなされました。日々変化する社会情勢及び検討される制度改革を注視しながら、保険者の負託に応えてまいります。

結びに、本年もさらなるご理解・ご協力を心からお願い申し上げます。新しい年が皆さま方にとって明るく実り多き年になりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平成26年 元旦



《年頭のごあいさつ》

生涯を安心して過ごせる 社会の実現に向けて

鹿児島県
知事 伊藤 祐一郎

平成26年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

各保険者及び鹿児島県国民健康保険団体連合会の皆様には、日ごろから国民健康保険事業及び介護保険事業等の健全な運営に多大な御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、国民健康保険財政の状況につきまして、年齢構成が高く医療費水準が高い、低所得者が多く保険料負担が重いなどの構造的問題に加え、高齢化の進行、医療技術の進歩による医療費の増大など、一層厳しさを増しております。

このような中、国においては、社会保障制度改革の全体像と進め方を明らかにした「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」が昨年秋季の臨時国会において成立し、国保の保険者を市町村から都道府県へ移行することや保険料負担の見直し等が示されるなど、国民健康保険制度は大きな変革期を迎えつつあります。

今後、改革が具体化されるに当たり、県としては、社会経済の変化に対応した持続可能な社会保障制度の確立に向け、地方が適切に役割を果たし、そのために必要となる財源等が十分に確保されるよう、全国知事会等とも連携しながら必要な対応を

行つてまいりたいと考えております。

介護保険制度につきましては、社会保障審議会介護保険部会での審議を踏まえ、介護保険法の改正を経た上で、新たな介護保険制度がスタートすることになります。

県としましては、これに併せて、平成26年度に「鹿児島すこやか長寿プラン2012」の見直しを行うこととしております。また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、市町村とも連携しながら、見守り・地域の支え合い体制づくりや医療と介護の連携による在宅医療を推進するとともに、介護や支援を必要とする高齢者に適切なサービスを提供できるよう、引き続き、介護基盤の整備やサービスの質の確保・向上に努めてまいります。

さらに、「健康かごしま21（平成25～34年度）」を平成25年3月に策定し、「心豊かに生涯を送れる健康長寿県の創造」を目指して、市町村や関係団体と連携しながら、「脳卒中」、「がん」、「ロコモティブシン

ドローム（運動器症候群）」、「認知症」の発症・重症化予防と「休養・こころの健康づくり」等に取り組んでおります。

私は、県政運営の課題として、「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優し

く温もりのある社会」の構築を目指すとともに、県民の皆様と一緒には鹿児島県の新たな未来を創造していくことを掲げ、様々な取組を積極的に進めてきたところで、

21世紀の新たな未来を創造するため、すべての県民が郷土に夢と誇りを持ち生涯を安心して過ごせるような「力みなぎるかごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様には引き続き、県政に対する御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

鹿児島県国民健康保険団体連合会におかれましては、今後とも診療報酬、介護報酬の審査支払の的確な処理と、医療費分析や効果的な保健事業などの推進をはじめ各保険者に対する各種情報の提供や指導・支援に努められ、国民健康保険事業、介護保険事業の安定的な運営を図られますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、各保険者及び鹿児島県国民健康保険団体連合会をますますの御発展と皆様の御健勝・御多幸を心から祈念いたします。

平成26年 元旦



《年頭のごあいさつ》

医療保険制度の一本化への 大いなる一歩

国民健康保険中央会

会長 岡崎 誠也

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成26年の新春を迎え、一言ご挨拶
を申し上げます。

社会保障制度改革国民会議の報
告書を踏まえたプログラム法案が、昨
年12月5日に成立し、国保運営の都
道府県化を始めとする重要な医療
保険制度改革が平成29年度までに実
施されることとなりました。この一連
の改革については、国民皆保険制度導
入以来の大改革であり、我々が長年
主張しております医療保険制度の一
本化への大いなる一歩とも言えます。

今後、国保制度の基盤強化に関す
る国と地方の協議において、国保の構
造問題の分析とその解決策や、都道
府県と市町村の役割分担等の議論が
行われ、本年7月に中間とりまとめ
がなされることになっておりますが、
地方自治体の意見や要望を十分に踏
まえ、将来に渡って給付の平等と負担
の公平のもと国民皆保険制度を堅持
できる議論がなされることを強く期
待いたします。

我々国保関係者としては、国
保の構造問題を解決し、財政の健全
化を図るには、更なる財源確保が必

要であることから、後期高齢者支援
金における全面総報酬割導入で生み
出される財源については、国保に優先
的に充てることを強く働きかけてま
いらねばならないと考えております。

一方、規制改革会議において、審査
支払機関の役割分担の見直しや保険
者による直接審査の推進について、昨
年から議論が行われておりますが、
我々国保中央会・国保連合会では、よ
り一層の審査の質の向上と事務の効
率化、国保データベース(KDB)シス
テムを活用した保健事業の推進によ
る医療費適正化等に取り組んでいく
所存であります。

本会としましては、このような国の
動向を注視しながら、本年も引き続
き、全国市長会や全国町村会をはじ
めとする地方関係団体や都道府県
国保連合会と共に、最善の努力を続
けて参りますので、皆様方からの一層
のご支援、ご協力を賜りますようお
願い申し上げますとともに、新しい年
が、明るく実り多き一年となること
を心からご祈念申し上げます、新年のご
挨拶といたします。

平成26年 元旦

謹賀新年

皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

〈鹿児島県国民健康保険団体連合会〉

理事長 志布志市長 本田 修一
副理事長 長島町長 川添 健
(職務代理者)

伊佐市長 隈元 新
常務理事 学識経験者 湊 修一

理事 枕崎市長 神園 征
指宿市長 豊留 悦男

南九州市長 霜出 勘平
十島村長 肥後 正司

大崎町長 東 靖弘
伊仙町長 大久保 明

知名町長 平安 正盛
県医師国保組合理事長

池田 琢哉
監事 出水市長 渋谷 俊彦

南 政吾
外職員一同

〈鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員会〉

会長 野村 秀洋
会長職務代行者 中村 一彦
杉原 一正
外審査委員一同

〈鹿児島県国民健康保険診療施設協議会〉

会長 川添 健
副会長 湊 修一
外役員一同